ESR東扇島ディストリビューションセンター

（左上）グレアレスダウンライトと光柱で上質な雰囲気を醸し出す、東京湾が一望できる9階東ラウンジ
（左下）ライン状の建築化照明を多数配置し、空間の広がりを演出した8階西ラウンジ
（右）手すり基部に照明が埋め込まれた、8階と9階ラウンジをつなぐらせん階段

人起点の視点で整備された先進的大規模物流施設

不動産アセットマネジメントのグローバル企業であるESR株式会社は、施設で働く人を第一に考え、環境にも配慮した先進的物流施設やデータセンターを、三大都市圏と九州に建設している。2023年3月に竣工した当施設は、マルチテナント型大規模物流施設で、全国で30件目のプロジェクト。

現地は川崎市の臨海部でも物流需要の高い東扇島地区であり、首都高速湾岸線・横羽線、東京湾アクアラインなどの広域交通網のアクセスに優れ、横浜港まで約15km、羽田空港まで約10kmと陸・海・空の交通インフラも整っている。建物は西棟と東棟から構成され、45フィートのコンテナトレーラーが走行可能な上りと下りの専用ランプウェイを南北に擁し、これを結ぶ中央車路によって各階に一方通行のアクセスが可能で、合計565のトラックバースを備える。物流施設としては国内最高層の地上9階建で、ガラスカーテンウォールからこぼれる光が地域のランドマークとしての姿を示している。照明は、基本的に照明器具が目立たないように計画され、間接照明や存在感を抑えたダウンライトが用いられた。

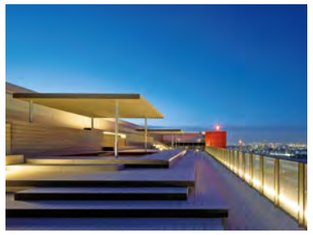
ESRが物流施設開発の基本理念に掲げる「HUMAN CENTRIC DESIGN.（人を中心に考えたデザイン）」が当施設でも踏襲され、テナント従業員のため、多様なアメニティ施設を備えている。従業員専用のラウンジは、東棟の8・9階と西棟の8階に配置。8階にはボウリング場をはじめ、無料で利用できるマシンジムも設けられている。さらに、9階からは、羽田空港や東京湾が一望できるスカイデッキへとつながる。1階南側には従業員用の託児所も開設されている。

さらに、災害発生時には神奈川県の協力要請に基づき、広域物資輸送拠点として機能する協定書を県と締結しており、川崎市とも一時避難所として協力するとともに、災害時には防災拠点としての役割も期待されている。

◀（上）狭角スポットライトにより水面に浮かび上がるように見える9階テラスのロゴオブジェ
（下）3Dシミュレーションソフトにより建築化照明を効果的に用い、ダウンライトを極力省いた、東京湾の波をイメージした東エントランス

ESR東扇島ディストリビューションセンター

所　在　地／神奈川県川崎市川崎区東扇島
事　業　主／ESR株式会社
設　　計／東急建設株式会社、
KLÜBBエリアデザイン／タカトタマガミデザイン株式会社
ランドスケープデザイン／渡辺美緒デザイン事務所
施　　工／東急建設株式会社
竣　　工／2023年3月
規　　模／敷地面積：77,725m²　延床面積：349,003m²



階段下の照明で鉛直面照度を確保している
9階スカイデッキ

ライン状の建築化照明とダウンライトが空間を彩る
8階西エレベーターホール

柔らかな光のダウンライトとコーブ照明が
用いられた従業員用の託児所

3000Kのコーニス照明が用いられた
従業員専用のボウリング場

ランプウェイから建物を縦貫する中央車路

トラックバースでは作業効率に配慮して5000Kの
ベースライトが配置されている

主な納入設備

● LEDベースライト　● LEDダウンライト　● LED建築化照明

画像提供：ESR株式会社